

第38回学会大会のおしらせ

日 時：2026 年 6 月 12 日（金）～ 6 月 13 日（土）

場 所：日本基督教団神戸教会、神戸市教育会館

第38回学会大会準備・実行委員会

第 38 回（2026 年度）学会大会は、「頌栄保母伝習所」の生みの親である日本基督教団神戸教会および神戸市教育会館を会場として二日間にわたり開催されます。「キリスト教教育の始まり・現在そして未来」（仮）を統一テーマに、時代の転換期にあって改めてキリスト教教育の源流を問い、その今日的意義と将来への展望を考える場といたします。

一日目のフォーラムでは、「キリスト教教育の危機に直面して」をテーマに、少子化や宗教離れ、担い手不足など深刻な課題の中で、学校・教会・園など多様な現場が直面する現実を見つめます。現場の声と研究者の対話を通して、八方ふさがりに見える状況の中にこそ生まれる希望の兆しを共に探りたいと願っています。二日目のシンポジウムでは、「フレーベルを問い直す—キリスト教教育の観点から」をテーマに、日本のキリスト教保育の原点を改めて見つめます。明治期にフレーベル教育を携えて来日した女性宣教師たちの働きを振り返りつつ、教育思想・神学・実践の各視点から、今日のキリスト教教育におけるフレーベルの意義を再考します。

また会期中には、頌栄短期大学ハウ記念資料館所蔵のアニー・L・ハウ資料展示を予定しています。創始期の熱い志に触れながら、未来のキリスト教教育を共に思い描くひとときとなることを願い、実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

1. 学会大会準備・実行委員会

大会委員長：相澤弘典

実行委員長：森田喜基

実行委員：後藤 慧、小見のぞみ、菅根香織、
廣岡義之、渡邊恵梨佳

2. 開催要領

日 時：2026 年 6 月 12 日（金）～ 6 月 13 日（土）

会 場：日本基督教団神戸教会、神戸市教育会館

（神戸教会）

〒 650-0013 兵庫県神戸市中央区花隈町 9-16

（神戸市教育会館）

〒 650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通

4 丁目 10-5

連絡先：第 36 回学会大会準備実行委員会

実行委員長 森田喜基（同志社大学）

e-mail：yomorita@mail.doshisha.ac.jp

参加費：

①大会参加費：一般会員 2,000 円

学生会員 1,000 円

非 会 員 3,000 円

部分参加も同額となりますので、ご了承ください。

※昼食代は含みません。二日目の昼食は、会場にて

お弁当販売（予約制・別途代金）をいたします。

②情報交換会会費：一般会員 5,000 円

学生会費 2,500 円

3. プログラム

6 月 12 日（金）【1 日目】

13:30 - 14:00 受付（神戸教会礼拝堂前）

14:00 - 14:10 開会（礼拝堂）

14:15 - 16:40 フォーラム（神学館礼拝堂）

フォーラム終了後（移動）情報交換会

会場：神戸南京町周辺

6 月 13 日（土）【2 日目】

9:00 - 受付

9:00 - 9:20 発表者打ち合わせ

9:30 - 12:30 研究発表

（201、202、203 教室）

12:30 - 13:30 昼食・休憩

13:30 - 14:00 学会総会：教育会館大ホール

14:00 - 14:30 特別講演：教育会館ホール

「アニー・ライオン・ハウの残した軌跡」（仮）

頌栄保育学院院長 相澤弘典会員

14:30 - 14:40 休憩

14:40 - 16:50 シンポジウム：教育会館大ホール

16:50 - 16:55 閉会

※教室等に変更される可能性があります。

4. フォーラム

日 時：6 月 12 日（金）14:10～16:40

会 場：日本基督教団神戸教会礼拝堂

テーマ：「キリスト教教育の危機に直面して」

趣旨：

キリスト教学校の縮小、運営からの撤退、閉校が相次いでいる。少子化による教育・保育界への逆風は激しく、教会や園を含むキリスト教教育のあらゆる場が、その働きを維持するどころか存続さえ厳しい状況に置かれている。

危機の背景には、学生（園児・生徒）募集の困難、クリスチャンの働き人不足に加え、教師や保育者職自体の敬遠傾向という深刻な担い手不足がある。さらに、世界で繰り上げられる宗教を起因とする争いや「宗教2世」問題により、宗教や宗教教育に対する忌避感が社会に広がっている。

本フォーラムでは、八方ふさがりに見えるこの危機に率直に向き合い、現場と研究者の対話を通して希望を見出す機会としたい。

発題者：

大岡左代子（日本聖公会桃山基督教会司祭、
桃山幼稚園、平安女学院院長）

上島一高（日本基督教団松山教会牧師、
松山東雲女子大学教授）

駒木 亮（日本基督教団泉佐野教会牧師、
清和こども園園長）

司会：渡邊恵梨佳（神戸海星女子学院大学）

記録：後藤 慧（日本基督教団甲子園二葉教会）

5. 研究発表

日 時：6月13日（金）9:30～12:30

会 場：神戸市教育会館 201、202、203 室

申し込み：研究発表希望の会員は、所定事項を記入した申し込みフォームを添付して学会事務局宛てにメールでお送りください。申し込み締め切りは2月6日（金）です。申し込みフォームは学会のホームページからダウンロードできます。多くの会員のご発表を期待いたします。

6. シンポジウム

日 時：6月13日（土）14:40～16:50

会 場：神戸市教育会館大ホール）

テーマ：「フレーベルを問い直す

キリスト教教育の観点から」

趣旨：

日本のキリスト教保育は、明治期に来日した主に女性宣教師たちによって始められた。彼女たちはキリスト教信仰とともに、幼稚園の創始者フリードリヒ・フレーベルの教育思想と方法を積極的に導入した。その後、フレーベル主義の教育は「進歩的でない」と批判されたり、子ども観・自然観・神観を神学的に疑問視されたりすることもあった。しかし、子どもの「遊び」の価値を発見し、幼児教育を「人間の教育」として意味づけたフレーベルの思想は、今日も幼児教育・保育の営みを根底で支え続けている。本シンポジウムでは、教育哲学・神学・国際的比較・現場実践といった多様な視点からフレーベルを問い直し、キリスト教教育におけるフレーベルの意味を再考する。

発題者：

「キリスト教保育としてのフレーベル」

畠山祥正（元・茨城キリスト教大学）

「教育哲学（ボルノー思想）からみたフレーベル」

廣岡義之（神戸親和大学）

「キュックリヒ（ドイツ）と保育者の立場から見たフレーベル」

菅原陽子（草苑短大・聖学院大学大学院）

司会：山本孝司（西南学院大学）

記録：菅根香織（神戸教会いずみ幼稚園）

7. 会場までのアクセス

◎神戸教会までのアクセス

神戸高速（阪急） 「花隈」 駅から徒歩7分

神戸市営地下鉄 「県庁前」 駅から徒歩4分

◎神戸市教育会館までのアクセス

神戸市営地下鉄「県庁前」 駅前から徒歩5分

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

8. 宿泊案内

一日目情報交換会会場、三宮、元町周辺に多数ホテルがありますので、お早めにご手配ください。